

10/2

地域福祉の推進へ、 ご協力をお願いします

赤い羽根共同募金始まる

この日、市内の主要な駅で赤い羽根共同募金の協力のお願いを呼びかけました。

赤い羽根共同募金は地域ごとの使い道や集める額を事前に定めて募金を募る「計画募金」です。集まった募金は市内のボランティア活動や社会福祉施設の改修費用、また県内の課題を解決するための費用として使われます。

今年度は10月1日から12月31日まで募金運動が行われます。ご協力をよろしくお願いします。



西鉄二日市駅前では協力を呼びかける藤田市長

9/26

福岡県最古の酒蔵が作る 伝統と進化の味

大賀酒造が福岡県酒類鑑評会で県知事賞を受賞

9月6日に行われた第6回福岡県酒類鑑評会の大吟醸酒の部で、大賀酒造株式会社(市内二日市中央)の「大吟醸 筑紫野 雫搾り」が成績上位の銘柄の中でも特に優秀なものに与えられる福岡県知事賞を受賞し、この日その報告がありました。

「雫搾り」は、もろみを酒袋に入れて自然に落ちた雫をガラス瓶に受ける製法で、できるだけ圧力をかけないことで雑味のないまろやかな味になります。

大賀社長は「赤ちゃんを育てるように丁寧に作るお酒。コンセプトが認められて嬉しい」と話してくれました。



10/4

鍛錬の成果を発揮、県の頂点に

福岡県民体育大会、剣道一般女子の部で筑紫野市が優勝

9月23日、24日に行われた第60回福岡県民体育大会の剣道一般女子の部で筑紫野市が優勝。この日、選手の栢込 麻衣子さんと川原 恵子さんが藤田市長に報告しました。

2人は御笠剣友会に所属し、週3回の稽古で子どもたちの指導をしながら、腕を磨いています。

市には8つの剣友会があるなど、剣道が盛んです。剣道は他にも青年女子の部で準優勝、青年男子の部で3位になるなど好成績を収めました。



栢込 麻衣子さん(前列左)と川原 恵子さん(前列右)

10/1

健康、福祉を楽しく学ぶ

カミーリヤフェスティバル

カミーリヤとほほえみタウンで今年もカミーリヤフェスティバルを開催し、健康や福祉に関する団体35団体が参加しました。

屋内では健康体操や楽器演奏などのステージ発表のほか食生活改善コーナー、朗読ボランティアなどたくさんのブース、屋外では食品・物品のバザーや、グラウンドゴルフなどのニュースポーツ体験などがあり、子どもから高齢者まで多くの人を楽しんでいました。



食育カルタで「食」について楽しく学びます

ちくしのクリップ

10/8

地域のチームワークは、うちが一番！

10月1日から9日にかけて、10区に分かれて市民体育祭が市内各地で行われ、8日には計8カ所で開催されました。

54回目の開催となる二日市小学校区大会では10月とは思えない真夏のような暑さの中、乳幼児から高齢者まで多くの人に参加。地域で分かれて競い合うため、それぞれの地域が日ごろ培ったチームワークを発揮し、とて

市内各地で市民体育祭が開催されました

も盛り上がっていました。また、一生懸命走る子どもたちや、慣れない運動に体がついていかないお父さんお母さんに対して、地域を超えて温かい声援が送られました。

競技をする人も応援する人も笑顔で、皆さん楽しく気持ちよさそうに汗を流していました。



10/5

拾うことで、捨てないことを学ぶ

京町保育所クリーンデー

京町保育所では月の初めにクリーンデーとして子どもたちがまちのごみ拾いをしています。この日は「まちをキレイにし隊」と書かれたおそろいのTシャツを着た8人の子どもたちが、元気にあいさつをしながら京町保育所から西鉄二日市駅周辺までごみを拾いました。

子どもたちは、ごみを見つけると「ごみ発見！」と言って拾い、確認して、分別します。ごみの袋は、子どもたちが持ったタバコの吸殻やビン、缶などでいっぱいになっていました。



10/4

大運動会、思いも大きく

筑紫野市スポーツ少年団 九州北部豪雨災害義援金

9月23日に筑紫運動広場で開催されたスポーツ少年団交流大運動会では平成29年7月九州北部豪雨の被災地への義援金募金箱を設置。この日、運動会を主催した筑紫野市スポーツ少年団から、集まった募金を義援金として預かりました。日本赤十字社を通して、被災地支援に役立てます。

筑紫野市スポーツ少年団の金岡本部長は「今後もスポーツを通して子どもの健全育成に努めます」と話していました。

